

第25回 地図構造化TFにおける

「ダイナミックマップ構築に向けた試作・評価に係る調査検討」施策
についての議論要旨

議 事 要 旨	○ 今年度、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）・自動走行システム」自動走行システムの実現に向けた諸課題とその解決の方向性に関する調査・検討におけるダイナミックマップ構築に向けた試作・評価に係る調査検討の委託案件では、昨年度同様「ダイナミックマップ構築検討コンソーシアム(7社連合)」が受託した。本会議では、コンソーシアムから技術審査会(プレゼンテーション)にて、報告頂いた今年度受託の業務予定と内容について、改めて説明・報告し、質疑応答を行っている。 ○ 質疑応答に加えて、本委託業務の成果としての期待や要望についても、参加各位より意見が成された。 ○ 本会議の要旨を踏まえて、作業進捗を図ることとし、次回10月頃に改めて作業進捗状況を報告することとなった。
TF で の 主 な 議 論	(1)コンソーシアム代表(三菱電機)より、今年度委託業務の施策内容について報告後、主に下記の質疑応答や要望等がなされた。 Q1: 本成果で大規模実証は可能か？地図サプライヤ側で追加加工なしで問題ないか？ A1: 協調領域としては、問題ないと考えている。 Q2: 経路データは競争領域か？海外OEMなどの利用も想定しており、今回の成果のみでも実証実験ができるように、協調領域を広げてゆきたいと考えているか？ A2: 地図サプライヤ各社が独自で必要と考えるところは競争領域である。 今回の成果である協調領域だけでも実証実験ができるように調整していく。 Q3: ETC2.0データの利用については、どのように考えているのか？ A3: ETC2.0データの内容について開示されていないので、現状利用は考えていない。 Q4: JARTICからのデータは一部でも良いので、是非取り込んで欲しい。 A4: 各省庁との調整であるが、調整がつけばデータ活用を検討したい。 Q5: 仕様書の改訂とあるが、いつ頃出す予定か？標準化作業にできるだけ入れ込みたい。 A5: 10月から計測等を始める予定であり、9月中には仕様を確定したい。 Q6: 本成果は実ビジネスの展開に活かされるのか？ A6: ダイナミックマップ基盤企画株式会社は事業会社化を目指しており、そこに外注することを想定している。本業務で得られた知見・ノウハウも活用される。 Q7: ダイナミックマップセンタを作るにあたって何が必要なのか整理してほしい。 A7: 本業務を進める中で、センタ機能の内容（機能・性能・諸元等）についても整理する。 参加者からは、上記の質疑応答や要望等が寄せられ、作業進捗等を滞りなく実施することで、ご理解頂いた。 以上